おはなし給食



ラき かい ほん なか とうじょう りょうり 月に | 回、本の中に登場する料理をきかうしょく ていきょう 給食で提供します。

「とことこ だいこん りょうりたび」より



fo か きん ぶたにく だいこん にもの **12月4日(金) 豚肉と大根の煮物**

大根は昔から食べられてきた野菜の一つで日本では 卑弥呼が活躍していた弥生時代から食べられてきたとされています。また大根はたくさんの種類がある野菜の一つです。世界最大級の大きさである「桜島大根」は重さが 30 kg を超えるものがあったり、世界最長の長さを持つ「守口大根」は 1.8 mを超えるものもあったりします。

大根がでてくる本は、「大根はエライ(久住 昌之 作・絵/ 法にんかんしょてん 福音館書店)」「にらめっこ だいこん」(わび みよ作・絵/ひかりのくに)「タコとだいこん」(伊佐 久美 作/講談社)「だいこんどのむかし」(渡辺節子 作 二俣 英五郎 絵/ぽるぷ出版)などがあります。

「トコトコだいこんりょうりたび」

よしたか ゆみこ 作・絵

えほんじゅくしゅっぱん 絵本塾出版



赤い線の部分を落とします

切り込みを入れます

~どんなおはなし?~

「このだいこん あしがあるぞ。せっかく おおきく そだったのに、 これじゃ うりものにならないよ」と農家のおじさんが言いました。

「あしがあるなら あるいていくだけさ」と、だいこんは農家のおじ さんたちに見送られ、料理される旅にでます。

だいこんは頭の先から足の先までおいしく料理してもらえる
りょうりにん で あ
料理人に出会えるのでしょうか…

おでんの大根~和食の技術~

まずが聞、おだしの中で炊かれた大根。煮崩れることなく、芯まで味をしみこませる 際に、よりおいしくする和食ならではのひと手間があります。

そんなおもてなしの和食の技術を紹介します。

【面取り:形が煮崩れないように】

輪切りにした大根の切り口を少し落とすことで、煮ている際にぶつかり合って崩れることを防ぎます。

(隠し包丁:味がよく染み込むように)

輪切りにした大根の片面に十字に切り込みをいれます。味の染み込みを良くします。また提供する際は隠し包丁を入れた面を見せないようにすることで、見た曽もきれいに仕上がります。